

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
飛騨市	河合小鳥川流域 (角川、小無雁、有家、中澤上、 保木林、羽根、新名、元田、天生)	平成24年8月1日	令和3年3月18日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	51 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	45 h a
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	15 h a
i うち後継者のいない農業者の耕作面積の合計	10 h a
ii うち後継者のいる農業者の耕作面積の合計	5 h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	8 h a
(備考) ④の耕作面積は、河合地域全体の面積である。	

### 2 対象地区の課題

<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田が狭小で、形もいびつであるため管理が大変である</li> <li>・ 耕作面積より畦畔の方が大きく草刈りが大変</li> <li>・ 不在地主の農地管理</li> <li>・ 人口減少が著しい</li> <li>・ 地域内に担い手がいない</li> <li>・ 高齢者が多く農業を続けられない</li> <li>・ 自分で作付けする人が少なくなり、地区外の担い手に預けている人が多く、農地も点在している</li> <li>・ イノシシによる被害</li> <li>・ 機械代が高く、営農が難しい</li> </ul>
---

### 3 対象地区内における課題に対する取組

<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も地域の農地の現状を話し合いの中で確認していく</li> <li>・ 今後、耕作できなくなった場合は、改良組合に相談することとし、地域内で耕作できる人はいないか検討する</li> </ul> <p><b>【角川】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域内に担い手がおらず、地区外からの担い手に頼るところが大きいため、担い手が耕作しやすい環境を整備していく</li> </ul> <p><b>【有家】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来的に地区内のW C Sの集約化に向けて、基盤整備等を推進し稲作及びW C Sの集約化（圃場の大型化）を図るため担い手と話し合いを継続していく</li> <li>・ 地区内での後継者等に関する話し合いを継続していく</li> <li>・ 不在地主の農地の活用に向けた基盤整備の取組</li> </ul>
---

#### 4 3を実現するために必要な取組に関する方針

##### 【角川】

- ・ 地区外からの担い手が耕作しやすいように集約化に向けた話合いを行う
- ・ 農地が荒れることによって生活にも支障が出てくるとの観点から、区として話合いに取り組んでもらうよう協力を得る